

基本政策3 自然環境

目指す姿1 良好な環境の保全

“四つの元気”



八郎湖



十和田湖



玉川大噴

施策の方向性① 大気、水、土壌等の環境保全対策の推進

良好な状態にある本県の大気や水環境を維持するため、継続的なモニタリングを行うとともに、有害な化学物質による汚染防止等の環境保全対策を推進します。

【主な取組】

- (1) 大気、水、土壌環境等のモニタリングの実施
- (2) 工場や事業場の監視と指導の実施
- (3) PCBやアスベストなど有害廃棄物の適正処理の推進と県環境保全センターにおける安定的な処理の実施
- (4) 能代産業廃棄物処理センターに係る環境保全対策の着実な実施

施策の方向性② 八郎湖・十和田湖・田沢湖の水質保全対策の推進

八郎湖、十和田湖、田沢湖は、長期にわたり水質環境基準を超過している状況にあることから、関係機関や地域住民等と連携しながら、湖の特性に応じた水質保全対策を推進します。

【主な取組】

- (1) 八郎湖における発生源対策やアオコ対策の推進
- (2) 十和田湖における汚濁負荷量の削減対策等の推進
- (3) 玉川酸性水の中和処理や田沢湖・玉川流域に関する継続的なモニタリングの実施

指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 大気環境に係る環境基準達成率 ※1	%	95.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	県調べ
② 水環境（三大湖沼を除く公共用水域）に係る環境基準達成率	%	89.0	92.4	95.0	95.0	95.0	95.0	県調べ
③ 八郎湖のCOD75%値（湖心）	mg/L	9.0	6.7	7.2	7.1	7.1	7.1	県調べ
④ 十和田湖の透明度（湖心）	m	10.9	11.9	12.0	12.0	12.0	12.0	県調べ
⑤ 田沢湖のpH（湖心）	—	5.0	5.3	6.0	6.0	6.0	6.0	県調べ

※1 … 越境大気汚染の影響を受けるオキシダント、PM2.5を除く。

目指す姿2 豊かな自然の保全



白神山地



加多喜沼自然環境保全地域



ツキノワグマ

施策の方向性① 生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理

人々の生活を支える食料や水の供給、気候の安定など生態系から得られる恵みの源である生物多様性が失われつつある中、人と自然が共生する豊かで潤いのある秋田を実現するため、県民や関係組織等と連携・協働しながら、生物多様性の保全と持続可能な利用を進めるとともに、自然公園等の保護と利用の好循環を実現します。

【主な取組】

- (1) 生物多様性の理解の促進に向けた普及啓発活動の推進
- (2) 自然環境保全地域等における生物多様性の保全活動の推進
- (3) 自然公園施設等の適正な維持管理と美化清掃活動の推進

施策の方向性② 野生鳥獣の適正な保護管理と被害対策の推進

野生鳥獣の分布の拡大や生息数の増加により、人的被害や農林水産物被害が生じていることから、個体群・生息環境管理など、適正な野生鳥獣の保護管理に努め、被害の防止に向けた取組を進めます。

【主な取組】

- (1) 被害防除・捕獲・普及啓発を柱としたツキノワグマの被害防止対策の推進
- (2) イノシシやニホンジカの捕獲強化とニホンザルやカワウ等の適切な被害防除対策の実施
- (3) 狩猟免許の取得や捕獲技術維持向上に対する支援
- (4) 市町村による推進体制の整備や農作物の鳥獣被害防止対策の促進
- (5) 野生動物の出没抑制につながる里山整備の促進

指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 自然環境学習拠点施設の利用者数	人	9,172	8,448	9,000	9,130	9,260	9,400	県調べ
② 狩猟者登録数	人	1,689	1,694	1,750	1,800	1,850	1,900	県調べ

